

第9回 オススメのインプット3選

前回、知識を深めることはとても大事だとお伝えしました。
その具体的な方法としてオススメのインプットを3つご紹介します。

①読書

昔も今も基本は読書です。特に、何十年も読まれてる名著というものは色あせることなく学びが多いです。
世の中の成功者は皆、読書をすすめています。

便利なことに kindle などの電子書籍でスマホでも読書ができるのでスキマ時間の有効活用にはもってこいです。

僕は Amazon の Kindle Unlimited という月額 980 円で読み放題 (新しいもの以外なら相当な数が読めます) を利用しています。
雑誌や、買うほどでもないけどちょっと読んでみたい本、気になるジャンルの本をまとめて読んでみようというときに大変役

立ちます（最大 10 冊までキープできます）。

さらに、電子書籍はメモやハイライトで大事だと思ったところにすぐチェックをつけられるので後で読み返すときに要点がわかるので便利です。

紙の本の場合でもふせんや折り目をつけたり、ペンで線を引いたりしておくといいでしょう。

読み返したときに前回の記憶が呼び起されて紐づけられるので、記憶の定着率が高まります。

②オーディオブック

プロが朗読したものを聴くことで本を読む、いわゆる聴く読書です。歩いているときも満員電車でスマホを手持していないときも、掃除しながらでもできるオススメ度の高いインプットです。

タイトル数は限られますが、利用しない手はないと思います。

僕が使っている Amazon のオーディオブック、Audible をオス

ススメておきます (Amazon の回し者ではありません)。

こちらは月額 1500 円ですが、月にひとつ “コイン” が貰えます。このコインで 1 タイトル買えますが、値段関係なく買えるというのが素敵な点です (コインは翌月に持ち越し可能。普通に買うときも Audible 会員は 30% オフが適用されます)。

3500 円のタイトルもコインで月額 1500 円で買える、さらに初めの 1 カ月は無料 (止めても購入タイトルを聴くことは可能)、もうひとつ挙げるならバックグラウンド再生可能なので聴きながらでもスマホで他の操作ができる、と良いことづくめなのがオススメする理由です。

さらに月に 1 つボーナスタイトルで 0 円になります (これは選べないので興味のあるジャンルならラッキーです)。

僕は本だとぶ厚すぎてくじけそうだけど読みたいと思ってるタイトルがあれば迷わず Audible で買います。

物語調だとスーッと入ってくるのであえて Audible で聴きます。

③教養系 YouTube

YouTube というエンタメなイメージが強いですでしょうか？

僕は Audible と双璧をなすくらいに効率的なインプットツールとして YouTube を使ってます。

教養系の動画を作るのに発信者の方は相当なインプットをし、噛み砕いてわかりやすくまとめています。つまり情報を凝縮してくれているわけです。

自分で情報を集めてたら時間がいくらあっても足りません。勉強にも時短にもなり、感謝しかないツールです。

さらに僕は再生速度を Max である 2 倍にしています。30 分の動画でも 15 分に短縮できるので自分で検索して調べる何倍、何十倍も効率的に学べます（ちなみに Audible も 2 倍速にします）。

速度を上げるには、徐々に慣らしながらにすると良いです。

本もネット情報もですが発信者選びは最重要です。質の高い情報をわかりやすく伝えてくれている人をしっかり選びましょう。

YouTube の難点はついついあれもこれも観たくなる誘惑が強すぎることです。

あとは胡散臭過ぎで時間のムダでしかないCMでしょうか。

僕はCMが嫌過ぎてプレミアムにしました。

月額 1180 円 (iPhone アプリからだが高くなるので注意) でCMカット、バックグラウンド再生可能になり、動画ダウンロード可能なのでオフラインで視聴可能です。

さらには YouTube Music のアプリも使えるようになり、音楽好きにはメリットかと思います。

上記のサービスは人によっては別に必要ではないと思うかもしれませんが、Audible ほどのコスパを感じないかもしれません。

その場合は無料のまま使えば、タダで大量の凝縮された情報が得られるのでかなりお得だと思います。

今回は、オススメのインプット方法として

- ・ 読書
- ・ オーディオブック
- ・ 教養系 YouTube

についてお伝えしてきました。

お金を

守る（知識と情報力）→稼ぐ（本業と副業）→増やす（投資）

をサイクルにしていくことが安定運用の基本です。

インプットは大切です。知識を可能な限り吸収しましょう。

次回は、アウトプットをすることについてお伝えします。

森 ひろき